

千葉商科大学 プレスリリース

高校生が地域の魅力を掘り起こす

「2019年度 地元再発見コンテスト」結果発表

千葉商科大学(学長:原科幸彦) 商経学部(学部長:山本恭裕)は、地域ビジネスや商品に関心がある高校生を対象とした「2019年度 地元再発見コンテスト※」について、2019年度の最優秀賞、優秀賞、審査員推薦賞を決定しましたのでお知らせします。

「地元の自慢を探し出し、ビジネスにつなげよう」という応募課題に対し、今年度は全国各地から合計71件の応募がありました。1次審査では商経学部教員が着眼点、表現力、実現性などを書類で審査し、10作品が2次審査に進みました。2次審査では「5分以内のプレゼンテーション映像」を提出してもらい商経学部1年生による投票並びに同学部教員による審査で、入選作品を決定しました。

最優秀賞に輝いた「ブラックバスを使って一石二鳥!!」は、猪苗代湖の生態系を脅かすブラックバスを生かしたビジネスプランです。ブラックバスを食べることがメタボ予防、肥満改善につながることに着目し、東日本大震災以降、メタボ率が増加している福島県の小学生に、猪苗代湖でブラックバスを釣り、料理し食べてもらうことで、生態系に与える影響とメタボ改善を一石二鳥で解決できるという点が評価されました。

※「地元再発見コンテスト」

高校生が地域資源を活用したビジネスプランを考えることを通して、地元への意識をさらに深めてもらうこと、さらに、高校生の考案したビジネスプランを本学から社会に発信することで、地域経済の力になっていくことをめざし、2014年度より実施。地元の観光ビジネスにつながるような地産商品、伝統文化、世界的に誇れる技術をもつ中小企業など地元の自慢できる「もの」・「こと」を高校生が調査し、地域の魅力を掘り起こし、地方ビジネス創出のアイデアを提案する。

◆2019年度 地元再発見コンテスト 結果

【最優秀賞】1作品

・「ブラックバスを使って一石二鳥!!」 村尾碧さん(猪苗代高校/福島県)

【優秀賞】2作品

・「源平合戦の歴史伝承を体験するツアー」

吉實沙希さん 渡辺陽さん 和田雄喜さん(金光学園高校/岡山県)

・「紙ごみでつくるオリジナルの芸術」 大岩眞己さん(千早高校/東京都)

【審査員推薦賞】1作品

・「名古屋コーチンフェスタ」川尻柚希さん(古知野高校/愛知県)

■審査結果の詳細は、千葉商科大学「商経学部」Webページにて発表しています。

【「2019年度地元再発見コンテスト」Webページ】

https://www.cuc.ac.jp/dpt_grad_sch/shoukei/findlocal/index.html

地元再発見コンテスト 2019

検索

<本件に関するお問い合わせ先>

千葉商科大学 学部事務課(商経学部担当) 「地元再発見コンテスト」係

[Tel] 047-373-9750 [Fax] 047-373-9944 [E-mail] hakken@cuc.ac.jp



千葉商科大学

www.cuc.ac.jp